教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	音　楽（一般）

発行者	総合的な所見
教　出	**（ア）第１の観点　基礎・基本の定着** ①見開き左ページ上の教材名の下に縦書きで学習のポイントを２つずつ示すとともに、〔共通事項〕に示されている用語や記号を見開き右ページ下に掲載している。 ②１年では「夏の思い出」と「赤とんぼ」、２・３年下では「花」と「荒城の月」等、関連のある楽曲を続けて掲載している。学習のポイント、楽譜、歌詞、作者の写真や紹介文等を掲載している。「A Message for you」や曲のゆかりの地、歌詞に関係のある情景の写真等を掲載している。 ③「音のスケッチ」として、各学年２～３つずつの創作活動を取り上げている。 **（イ）第２の観点　主体的に学習に取り組む工夫** ①キャラクターの吹き出しを通して、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫がある。 ②第２・３学年上下の「私たちのくらしと音楽」の中で、音や音楽と生活との関わりについて扱う題材を掲載している。 **（ウ）第３の観点　内容の構成・配列・分量** ①１学年の鑑賞教材として、箏曲「六段の調」、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現、日本とアジアをつなぐ音、郷土のさまざまな民謡、歌唱教材として、「ソーラン節」、「かりぼし切り歌」、「この道」、「谷茶前」、「故郷（全校合唱）」を掲載している。 ②各学年とも、歌唱教材、創作、鑑賞教材の順で配列している。その後、「深めてみよう」の歌唱教材・鑑賞教材、合唱曲集、国歌「君が代」、楽典、資料の順で配列している。 **（エ）第４の観点　内容の表現・表記** ①各学年とも、目次の次のページで主要教材について「学びのユニット」として音楽を形づくっている要素との関連を示すとともに、第１学年及び第２・３学年上では、「どんな特徴があるかな？」のページで、音楽を形づくっている要素の内容を掲載している。 **（オ）第５の観点　言語活動の充実** ①共通するところや、それぞれのよさなどについて、発表し交流してみよう。」と示し、音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定をしている。

発行者	総合的な所見
教　芸	**（ア）第１の観点　基礎・基本の定着** ①学習活動について「～しましょう。」等の形で示すとともに、学習のポイントを簡潔に示している。〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を、見開き左ページ横の目標の下に掲載している。 ②７曲とも共通のタイトル「心の歌」として取り上げている。学習の目標、楽譜、歌詞、作者の写真と紹介文を記載するとともに、「作詞者の言葉」「作曲者の言葉」や曲に関する写真等を掲載している。 ③「My Melody」及び「Let's Create!」として、各学年２つずつの活動を取り上げている。 **（イ）第２の観点　主体的に学習に取り組む工夫** ①キャラクターの吹き出しを通して、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫がある。 ②各学年の「生活や社会の中の音楽」の中で、音や音楽との関わりについて扱う題材を掲載している。 **（ウ）第３の観点　内容の構成・配列・分量** ①１学年の鑑賞教材として、雅楽「平調 越天楽」―管絃―、箏曲「六段の調」、日本の民謡、郷土に伝わる民謡を調べよう、歌唱教材として、「越天楽」の唱歌を歌おう、「ソーラン節」、「涙そうそう」、「上を向いて歩こう」、「ふるさと（全校合唱）」を掲載している。 ①第１学年は、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順で配列しており、創作については、関連する歌唱教材及び鑑賞教材の後に配列している。第２・３学年は、歌唱教材、創作、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順で配列している。 **（エ）第４の観点　内容の表現・表記** ①各学年とも、目次の次のページに、掲載するすべての曲について音楽を形づくっている要素との関連を示し、併せて各曲の見開き左ページ下にも示している。また、「音楽を形づくっている要素」のページを設け、具体例とともに掲載している。 **（オ）第５の観点　言語活動の充実** ①「意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。」と示し、実際に音を出して音楽表現を高めていく場面の設定をしている。